


バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、○は発表者、※は大学院生、卒研究生または卒業生

学会名	植物化学調節学会 第51回大会（高知大学物部キャンパス）
演題名	光学活性ジャスモン酸の簡便な合成
発表者	<u>○</u> 内田健一、 <u>○</u> 宮本皓司、湯本絵美、酒澤智子、横田孝雄、 <u>○</u> 山根久和（有機化学研究室）
内容	ジャスモン酸(JA)は、植物のストレス応答や老化促進をはじめ、様々な生理活性を有する植物ホルモンである。これまでJAの生理活性は、主にラセミ体である(±)-JAを用いて調べられてきたが、それぞれの光学異性体を分離して生理活性を調べることが重要である。本研究では、市販のジャスモン酸誘導体から天然型の(-)-JA、および非天然型の(+)-JAを得る方法を開発し、非天然型のJAにも生理活性があることを報告した。
関連画像	 <p>ポスター発表の様子</p>